

「SBINFT Mits」、プロeスポーツチーム「QT DIG ∞ 」の ファンコミュニティ活性化施策に採用

SBINFT株式会社（代表取締役：近藤 智彦、以下「当社」）の運営するマーケティングプラットフォーム「SBINFT Mits」が、株式会社QTnet（以下「QTnet」）の子会社である株式会社戦国（以下「戦国」）が運営するプロeスポーツ（※1）チーム「QT DIG ∞ （キューティーディグ）」のファンコミュニティ活性化施策のために採用されました。



「SBINFT Mits」は、ブロックチェーンの活用（NFT）でファンを可視化し、その育成から獲得までをワンストップで実現できるマーケティングプラットフォームです。導入企業は、「SBINFT Mits」に搭載された12種の機能（NFT配布機能、「Discord」（コミュニケーションツール）連携機能やイベント開催機能など）を用いることで、NFTを介してファンと直接交流しながらコミュニティを形成し、自社のマーケティングにつなげられるのが特徴です。

今後、QTnet および戦国は、QT DIG ∞ ファンコミュニティにおいて、「SBINFT Mits」を活用して、イベントの開催や限定コンテンツの配布などでファンとの接点の増やすとともに、エンゲージメントを高めていくとしています。

当社は、このたびの導入実績が、エンタメ業界やスポーツ業界など、ファンコミュニティの活性化を重視する事業者での「SBINFT Mits」導入につながるものと期待しています。

当社は、今後もお客様のニーズに応えるサービス提供を通じ、お客様の利便性と満足度向上を図りながら、様々な企業・団体と協業を進めつつ、日本のWeb3を牽引するビジネスの創出を目指します。

SBINFT

◆ 「SBINFT Mits」について

「SBINFT Mits」は、ファンの可視化から獲得までをワンストップで実現するマーケティングプラットフォームです。NFT 発行者がファンコミュニティとの直接的なコミュニケーションを実現するために必要な 12 種類の機能を搭載しています。導入企業は、NFT の発行・配布からコミュニティ形成を通じてファンとダイレクトな関係性を構築し、Web3 に関する知見がなくとも、容易に NFT を活用したデジタルマーケティングを行うことができます。

URL : <https://sbinft-mits.com>

【SBINFT について】

「Be the FIRST. Be the STANDARD.」 NFT を社会へ広げる、その真ん中に。

SBINFT

便性の向上、コミュニティの形成、新たな体験の提供。そんな NFT を通じた革新的なサービスを、先頭に立って社会へ。そのサービスを誰もが信頼できるプラットフォームで、社会の常識に。ひらかれ、つながった社会の構築を目指して。

< リンク一覧 (SBINFT 株式会社) >

コーポレートサイト : <https://sbinft.co.jp/>

SBINFT Market : <https://sbinft.market/>

SBINFT Mits : <https://sbinft-mits.com/top>

最新情報 : <https://sbinft.co.jp/news/>

採用情報 : <https://sbinft.co.jp/careers/>

X (旧 Twitter) : https://twitter.com/sbinft_corp

◆ 会社概要

会社名 : SBINFT 株式会社

所在地 : 東京都港区六本木一丁目 6 番 1 号 泉ガーデンタワー

代表者 : 近藤 智彦 (こんどう ともひこ)

設立 : 2015 年 5 月

事業内容 :

- ・ NFT プロジェクトの運営を通じたロイヤルカスタマーの可視化、育成、獲得が出来るマーケティングプラットフォーム「SBINFT Mits」の提供
- ・ 承認制による安心安全なコンテンツのみ流通することを目的としたパブリックチェーンによる NFT マーケットプレイス事業「SBINFT Market」の提供
- ・ 企業や団体などが、NFT を活用した新たなビジネスモデルの構築を実現するための NFT コンサルティング事業「NFT Consulting」の提供
- ・ 自社ドメイン上で様々な NFT コンテンツのマーケットプレイス構築を実現する WebAPI によるマーケットプレイス構築支援事業「TOKEN CONNECT」の提供

< 報道関係からのお問い合わせ >

◆ SBINFT 広報 PR 室

<https://sbinft.co.jp/contact/>

(※1) エレクトロニック・スポーツの略です。パソコンやテレビゲーム等の電子機器を用いて競技を行うことを意味します。